

タマガワホトトギス ユリ科

Tricyrtis latifolia Maxim.

鳥取県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

環境省：—



大山 2009.7.18/撮影：永松 大

■**選定理由**：県内での生育地が大山，三国山，氷ノ山の一部の谷間に限られており，生育個体数も少ない。初版時から顕著な減少はなく，確認地も増加したため，今改訂ではⅡ類に変更した。

■**特徴**：県内では，ブナ帯の深い渓谷沿い急斜面，しばしば岩場で上方から水がしたたり落ちるような場所に生育する多年生草本。茎は斜上し高さ30–100 cm，葉が互生して羽状に配列する。基部は深心形で茎を抱く。花は7–9月，黄色で紫褐色の斑点がある。花序は葉腋につく。氷ノ山では登山道維持の草刈りにより本種が刈り払われることあり，注意。

■**分布** 県内：若桜町，三朝町，大山町。県外：北海道，本州（中部以北），九州。

■**保護上の留意点**：採取防止。渓谷沿い自然植生の保護。刈り払い注意。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：54.

執筆者：永松 大